

## 平成28年産そばの作付面積及び収穫量

－ そばの収穫量は、前年産に比べ18%減少 －

### 【調査結果】

#### 1 作付面積

全国の作付面積は6万600haで、前年産に比べ2,400ha（4%）増加した。

これは、田及び畑において他作物からの転換等があったためである。

#### 2 10a当たり収量

全国の10a当たり収量は47kgで、前年産に比べ22%下回った。

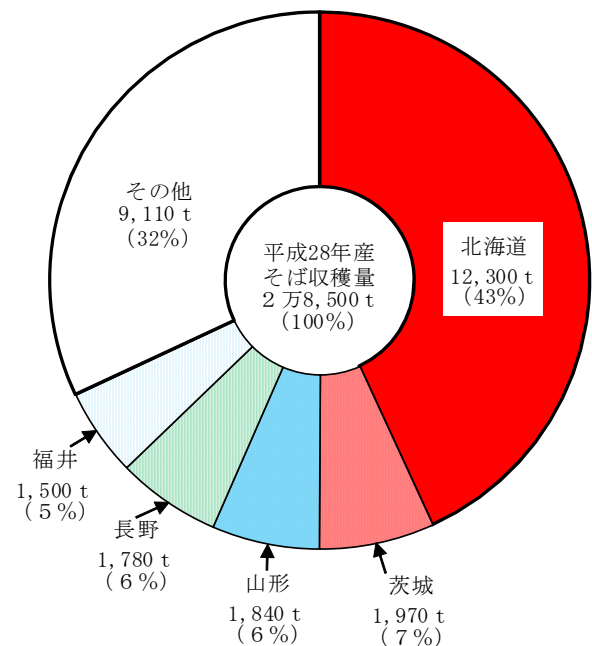
これは、そばの生育期間において、多雨による発芽不良等のほか、台風による倒伏被害により生育が抑制されたためである。

なお、10a当たり平均収量対比は82%となった。

#### 3 収穫量

全国の収穫量は2万8,500tで、前年産に比べ6,300t（18%）減少した。

図 平成28年産そばの都道府県別収穫量及び割合



注： 数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

表 平成28年産そばの作付面積、10a当たり収量及び収穫量

区分	作付面積	10a 当たり 収量	10a 当たり 収穫量	前年産との比較					(参考)		
				作付面積		10a当たり収量		収穫量		10a当たり 平均収量 対比	10a当たり 平均収量
				対差	対比	対比	対差	対比	対比		
ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg		
全国	60,600	47	28,500	2,400	104	78	△ 6,300	82	82	57	
北海道	21,500	57	12,300	700	103	74	△ 3,700	77	85	67	
都府県	39,000	42	16,200	1,600	104	84	△ 2,600	86	81	52	

注： 「(参考) 10a当たり平均収量対比」とは、10a当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値（平成21年産までの主産県調査対象道県以外の都府県は、平成22年産からの数値しかないため、平成22年産から平成27年産までの6か年のうち、最高及び最低を除いた4か年の平均値））に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

○ 作付面積には、被害等により収穫できなかった面積を含む。

本資料は、農林水産省ホームページの「統計情報」から御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 経営所得安定対策（畑作物の直接支払交付金）の交付単価の算定等のための資料
- ・ 農業災害補償法（昭和22年法律第185号）に基づく共済事業の適切な運営のための資料

◎ 累年データ

そばの作付面積、10 a 当たり収量及び収穫量の推移（全国）

区分	作付面積		10 a 当たり 収量	収穫量
	全国	主産県		
	ha	ha	kg	t
平成19年産	46,100	(38,400)	(68)	(26,300)
20	47,300	(39,800)	(58)	(23,200)
21	45,400	(37,800)	(40)	(15,300)
22	47,700	…	62	29,700
23	56,400	…	57	32,000
24	61,000	…	73	44,600
25	61,400	…	54	33,400
26	59,900	…	52	31,100
27	58,200	…	60	34,800
28（概数）	60,600	…	47	28,500

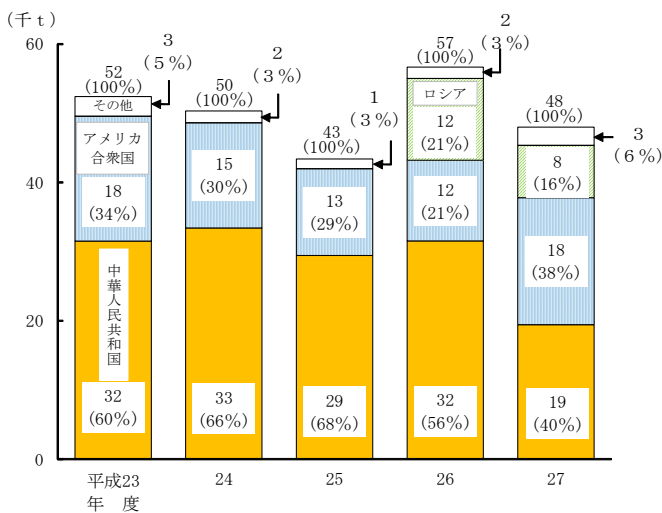
資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1 （ ）内は収穫量調査の調査対象県の合計値である。

2 「…」は事実不詳又は調査を欠くものである。

◎ 関連データ

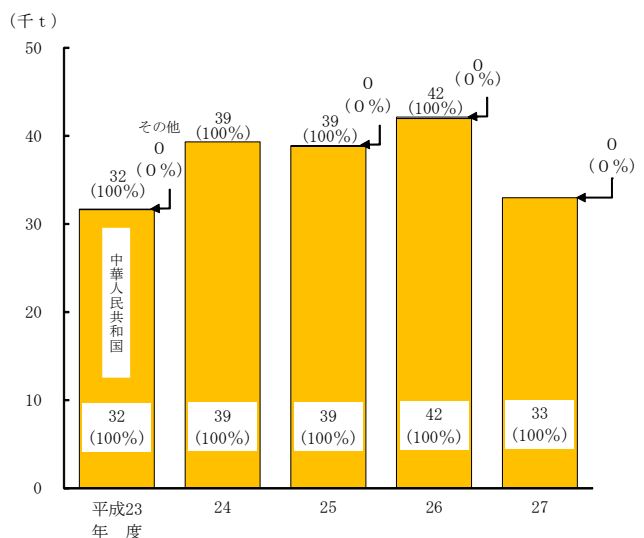
1 玄そば（殻付きのもの）の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：（ ）内の数値は、輸入量計に対する割合である。

2 玄そば（抜き実）の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

※ 玄そばから抜き実への重量の換算率は75.9%が使用されることが多い。

# 【統計表】

## 統計表一覧

平成28年産そばの田畑別作付面積、10 a 当たり収量及び収穫量 ----- 4 ページ

## 利用上の注意

- 1 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		5 桁 (1 万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）		2 桁	1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
  - 「0」： 単位に満たないもの（例：0.4ha→0ha）
  - 「-」： 事実のないもの
  - 「x」： 個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの
  - 「△」： 負数又は減少したもの
  - 「nc」： 計算不能
- 3 秘匿措置について  
統計調査結果について、生産者数が2以下の場合には調査結果の秘密保護の観点から、当該結果を「x」表示とする秘匿措置を施している。  
なお、全体（計）からの差引きにより、秘匿措置を講じた当該結果が推定できる場合には、本来秘匿措置を施す必要のない箇所についても「x」表示としている。
- 4 この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「平成28年産そばの作付面積及び収穫量」（農林水産省）による旨を記載してください。

平成28年産そばの田畑別作付面積、10a当たり収量及び収穫量

全国農業地域 都道府県	作付面積											
	計	前年産との比較			田	前年産との比較			畑	前年産との比較		
		対差	対比			対差	対比			対差	対比	
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%			
全 国 (1) (全国農業地域)	60,600	2,400	104	37,500	1,400	104	23,100	900	104			
北 海 道 (2)	21,500	700	103	8,690	120	101	12,800	500	104			
都 府 県 (3)	39,000	1,600	104	28,800	1,300	105	10,300	410	104			
東 北 (4)	16,400	1,000	106	12,700	700	106	3,690	290	109			
北 陸 (5)	6,160	80	101	5,590	50	101	569	24	104			
関 東・東 山 (6)	10,500	400	104	5,800	300	105	4,700	130	103			
東 海 (7)	547	△ 26	95	455	△ 12	97	92	△ 14	87			
近 畿 (8)	927	93	111	x	x	x	x	x	x			
中 国 (9)	1,680	30	102	1,440	20	101	239	12	105			
四 国 (10)	145	△ 6	96	78	0	100	67	△ 6	92			
九 州 (11)	2,590	50	102	1,780	120	107	809	x	x			
沖 縄 (12)	61	9	117	-	-	nc	61	9	117			
(都道府県)												
北 海 道 (13)	21,500	700	103	8,690	120	101	12,800	500	104			
青 森 (14)	1,610	70	105	1,170	10	101	438	58	115			
岩 手 (15)	1,620	0	100	1,210	△ 30	98	414	33	109			
宮 城 (16)	706	59	109	647	49	108	59	10	120			
秋 田 (17)	3,550	440	114	3,040	440	117	515	3	101			
山 形 (18)	5,100	200	104	4,470	140	103	623	51	109			
福 島 (19)	3,860	240	107	2,220	110	105	1,650	140	109			
茨 城 (20)	2,980	110	104	1,250	30	102	1,730	80	105			
栃 木 (21)	2,250	150	107	1,560	150	111	693	3	100			
群 馬 (22)	485	18	104	60	1	102	425	17	104			
埼 玉 (23)	344	△ 7	98	101	△ 6	94	243	△ 1	100			
千 葉 (24)	118	23	124	23	2	110	95	21	128			
東 京 (25)	10	0	100	-	-	nc	10	0	100			
神 奈 川 (26)	12	0	100	0	0	nc	12	0	100			
新 潟 (27)	1,480	△ 40	97	1,140	△ 60	95	335	12	104			
富 山 (28)	613	66	112	590	70	113	23	△ 4	85			
石 川 (29)	311	23	108	273	30	112	38	△ 7	84			
福 井 (30)	3,760	40	101	3,590	20	101	173	23	115			
山 梨 (31)	183	△ 5	97	134	0	100	49	△ 5	91			
長 野 (32)	4,130	160	104	2,680	140	106	1,450	20	101			
岐 阜 (33)	325	1	100	298	5	102	27	△ 4	87			
静 岡 (34)	80	△ 8	91	48	△ 2	96	32	△ 6	84			
愛 知 (35)	35	△ 4	90	22	△ 6	79	13	2	118			
三 重 (36)	107	△ 15	88	87	△ 9	91	20	△ 6	77			
滋 賀 (37)	457	60	115	453	60	115	4	0	100			
京 都 (38)	122	8	107	120	7	106	2	1	200			
大 阪 (39)	1	0	100	x	x	x	x	x	x			
兵 庫 (40)	318	18	106	310	18	106	8	0	100			
奈 良 (41)	27	6	129	7	3	175	20	3	118			
和 歌 山 (42)	2	1	200	1	1	nc	1	0	100			
鳥 取 (43)	326	3	101	315	3	101	11	0	100			
島 根 (44)	680	38	106	520	23	105	160	15	110			
岡 山 (45)	229	5	102	192	6	103	37	△ 1	97			
広 島 (46)	377	△ 22	94	353	△ 19	95	24	△ 3	89			
山 口 (47)	63	0	100	56	△ 1	98	7	1	117			
徳 島 (48)	69	△ 4	95	21	△ 1	95	48	△ 3	94			
香 川 (49)	26	2	108	22	3	116	4	△ 1	80			
愛 媛 (50)	41	△ 2	95	27	0	100	14	△ 2	88			
高 知 (51)	9	△ 2	82	8	△ 2	80	1	0	100			
福 岡 (52)	57	13	130	54	x	x	3	x	x			
佐 賀 (53)	29	5	121	20	4	125	9	1	113			
長 崎 (54)	168	5	103	111	8	108	57	△ 3	95			
熊 本 (55)	577	51	110	411	58	116	166	△ 7	96			
大 分 (56)	262	△ 14	95	181	△ 3	98	81	△ 11	88			
宮 崎 (57)	351	△ 35	91	244	△ 1	100	107	△ 34	76			
鹿 児 島 (58)	1,140	20	102	755	37	105	386	△ 16	96			
沖 縄 (59)	61	9	117	-	-	nc	61	9	117			

注：1 「(参考) 10a当たり平均収量対比」とは、10a当たり平均収量(原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値)に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

なお、平成21年産までの調査において、主産県調査対象都道府県以外の都道府県にあっては、平成22年産以降の調査結果しか存在しないため、10a当たり平均収量については平成22年産から平成27年産までの6か年のうち、最高及び最低を除いた4か年の平均値とした。

2 全国、都道府県及び全国農業地域別(以下「地域別」という。)の10a当たり平均収量は、各都道府県の10a当たり平均収量に当年の作付面積を乗じて求めた平均収穫量を地域別に積み上げ、当年の地域別作付面積で除して算出している。

10a 当たり収量		収 穫 量			( 参 考 )				
実 数	前年産との比較	実 数	前年産との比較		10a 当たり 平均収量 対	10a 当たり 平均収量	収穫面積	収穫面積に 対する10a 当たり収量	
	対 比		対 差	対 比					
kg	%	t	t	%	%	kg	ha	kg	
47	78	28,500	△ 6,300	82	82	57	59,500	48	(1)
57	74	12,300	△ 3,700	77	85	67	21,500	57	(2)
42	84	16,200	△ 2,600	86	81	52	38,000	43	(3)
37	97	6,080	160	103	86	43	15,900	38	(4)
37	77	2,270	△ 670	77	84	44	6,050	38	(5)
56	84	5,850	△ 960	86	78	72	10,400	56	(6)
35	109	194	10	105	103	34	524	37	(7)
41	100	380	37	111	95	43	887	43	(8)
23	55	389	△ 296	57	61	38	1,560	25	(9)
37	93	53	△ 8	87	74	50	134	40	(10)
38	51	988	△ 892	53	57	67	2,480	40	(11)
41	82	25	△ 1	96	89	46	57	44	(12)
57	74	12,300	△ 3,700	77	85	67	21,500	57	(13)
19	59	306	△ 187	62	61	31	1,550	20	(14)
58	97	940	△ 32	97	104	56	1,620	58	(15)
16	64	113	△ 49	70	50	32	697	16	(16)
42	95	1,490	120	109	111	38	3,550	42	(17)
36	109	1,840	220	114	88	41	5,070	36	(18)
36	100	1,390	90	107	72	50	3,470	40	(19)
66	96	1,970	△ 10	99	89	74	2,870	69	(20)
60	75	1,350	△ 330	80	76	79	2,240	60	(21)
85	89	412	△ 32	93	96	89	477	86	(22)
60	95	206	△ 15	93	77	78	340	61	(23)
41	80	48	0	100	67	61	115	42	(24)
43	91	4	△ 1	80	69	62	10	43	(25)
16	35	2	△ 4	33	23	69	12	16	(26)
38	90	562	△ 76	88	84	45	1,460	38	(27)
25	51	153	△ 115	57	60	42	610	25	(28)
18	82	56	△ 7	89	78	23	274	20	(29)
40	75	1,500	△ 470	76	89	45	3,710	40	(30)
44	96	81	△ 5	94	79	56	182	45	(31)
43	73	1,780	△ 560	76	65	66	4,130	43	(32)
36	103	117	4	104	106	34	324	36	(33)
35	152	28	8	140	103	34	76	37	(34)
28	156	10	3	143	127	22	26	38	(35)
36	100	39	△ 5	89	97	37	98	40	(36)
58	105	265	47	122	109	53	454	58	(37)
33	77	40	△ 9	82	85	39	119	34	(38)
29	50	0	0	nc	71	41	1	29	(39)
21	91	67	△ 2	97	72	29	289	23	(40)
31	89	8	1	114	72	43	23	35	(41)
11	33	0	0	nc	31	36	2	16	(42)
23	59	75	△ 51	60	79	29	296	25	(43)
21	43	143	△ 172	45	54	39	670	21	(44)
29	63	66	△ 37	64	67	43	227	29	(45)
25	78	94	△ 34	73	60	42	302	31	(46)
19	90	12	△ 1	92	51	37	63	19	(47)
44	79	30	△ 11	73	76	58	66	45	(48)
27	129	7	2	140	79	34	23	30	(49)
35	140	14	3	127	71	49	40	35	(50)
20	51	2	△ 2	50	59	34	5	40	(51)
14	54	8	△ 3	73	44	32	46	17	(52)
30	59	9	△ 3	75	57	53	25	36	(53)
26	51	44	△ 39	53	57	46	161	27	(54)
48	79	277	△ 44	86	77	62	572	48	(55)
27	123	71	10	116	73	37	245	29	(56)
35	38	123	△ 228	35	49	71	310	40	(57)
40	43	456	△ 584	44	50	80	1,120	41	(58)
41	82	25	△ 1	96	89	46	57	44	(59)

3 「(参考) 収穫面積」とは、取りまとめ段階の情報収集等により判明した、収穫する目的で作付けしたもののうち被害等によって収穫を放棄した(できなかった)面積を作付面積から除いた面積である。

## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

本調査は、特定作物統計調査の作付面積調査及び収穫量調査として実施したものであり、そばの生産に関する実態を明らかにすることにより、食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料、農業災害補償法（昭和22年法律第185号）に基づく共済事業の適切な運営のための資料、経営所得安定対策（畑作物の直接支払交付金）の交付単価の算定等のための資料とすることを目的としている。

### 2 調査の対象

#### (1) 調査の範囲

全国

#### (2) 調査対象者の選定

##### ア 作付面積調査（全数調査）

そばを取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

##### イ 収穫量調査

##### (ア) 関係団体調査（全数調査）

そばを取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

##### (イ) 標本経営体調査（標本調査）

2015年農林業センサスにおいて、そばを販売目的で作付けした農林業経営体から無作為に抽出（母集団名簿を作付面積順に並べ替えを行い、設定した面積規模別の標本の大きさに応じて等間隔に抽出する方法（系統抽出法）により抽出）をした。

#### (3) 調査対象者数

関係団体調査			標本経営体調査				
団体数	有効回収数	有効回収率	母集団の大きさ	標本の大きさ	抽出率	有効回収数	有効回収率
①	②	③=②/①	④	⑤	⑥=⑤/④	⑦	⑧=⑦/⑤
団体	団体	%	経営体	経営体	%	経営体	%
382	355	92.9	28,223	1,515	5.4	1,058	69.8

注：「有効回収数」とは、集計に用いた標本経営体及び関係団体の数であり、回収はされたが、当年産において作付けがなかった標本経営体等は含まない。

### 3 調査事項

#### (1) 作付面積調査

田畑別作付面積

#### (2) 収穫量調査

収穫量

### 4 調査期日

収穫期（主たる収穫期間は、10月～11月）

### 5 調査・集計方法

#### (1) 作付面積調査

関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査により行った。

集計は、関係団体調査結果を基に職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

(2) 収穫量調査

関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた作付面積及び収穫量を基に算出した10 a 当たり収量（関係団体調査にあつては、標本経営体調査結果による自家消費等の量を勘案して算出）を必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結果により補完し、これに作付面積を乗じて算出している。なお、調査結果により算出した各都道府県の10 a 当たり収量は、調査対象作物について、関係団体取扱数量の割合がおおむね80%以上の場合は関係団体調査結果を、おおむね80%未満の場合は標本経営体調査結果を採用している。

6 目標精度

本調査は、目標精度は設定していない。

7 全国農業地域の区分

全国農業地域名	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

8 用語の解説

- (1) 「作付面積」とは、は種又は植付けしてからおおむね1年以内に収穫され、複数年にわたる収穫ができない非永年性作物を作付けしている面積をいう。  
 なお、作付面積には被害等により収穫できなかった面積が含まれている。
- (2) 「収穫量」とは、収穫し、収納（保存又は販売できる状態にして収納舎等に入れることをいう。）がされた一定の基準（品質・規格）以上のものの量をいう。
- (3) 「10 a 当たり収量」とは、実際に収穫された10 a 当たりの収穫量をいう。
- (4) 「10 a 当たり平均収量」とは、原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値（平成21年産までの主産県調査対象道県以外の都府県は平成22年産からの数値しかないため、平成22年産から平成27年産までの6か年のうち、最高及び最低を除いた4か年の平均値）をいう。
- (5) 「10 a 当たり平均収量対比」とは、10 a 当たり平均収量に対する10 a 当たり収量の比率をいう。

## 9 その他

この資料の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（作付面積は平成29年3月予定、収穫量は平成29年4月予定）するとともに、その後発刊する『平成28年耕地及び作付面積統計』及び『平成28年産作物統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

### 【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「いも・雑穀・豆」に分類しています。

### 【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省>組織別から探す>大臣官房の部局別トップへ

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省>組織別から探す>政策統括官の部局別トップへ

[http://www.maff.go.jp/j/seisaku\\_tokatu/](http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/)

#### — お問合せ先 —

##### ◎本統計調査結果について

- ・作付面積に関すること

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3681

（直通）03-6744-2045

FAX： 03-5511-8771

- ・収穫量に関すること

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3682

（直通）03-3502-5687

FAX： 03-5511-8771

##### ◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3589

（直通）03-6744-2037

FAX： 03-3501-9644



**政府統計**

政府統計の総合窓口  
(e-Stat)

<http://www.e-stat.go.jp/>